

# ご利用の手引き

## 取り引きのお申し込み

お客様より検査受託できる体制が整っております。最寄りの営業所・営業拠点までご連絡ください。営業員がお伺いし、説明・ご相談させていただきます。ご連絡の際は裏表紙の営業所・営業拠点一覧をご参照ください。

## 検査のご依頼方法

### 依頼書

総合検査依頼書をご使用ください。  
データ伝送によるご依頼については別途ご相談ください。

### 記入要項

ご記入していただく事項は以下のとおりです。

- ・患者名、提出医欄については必ずカタカナ(必要に応じて漢字)で、生年月日・年齢・カルテNo.はアラビア数字でご記入ください。
- ・カタカナ名は左づめで、ご記入ください。
- ・性別、至急連絡、保険種、受診種、透析前後、食事前後については該当するものに斜線をご記入ください。
- ・ご依頼項目、セット検査はチェック欄に斜線をご記入ください。
- ・記載されていない項目をご依頼の場合は、欄外項目欄に項目名をご記入ください。
- ・検査コード欄に※と表示してある場合は、蓄尿量、身長、体重等を必要に応じてご記入ください。
- ・採取月日、採取時刻、提出日等もご記入ください。
- ・血液型検査をご依頼の場合は、必ず患者様の生年月日をご記入ください。

### 報告書

検査結果は所定の様式にてお届けいたします。  
データ伝送による報告については別途ご相談ください。

それぞれの依頼検査に適合した報告書にてご報告いたします。

1. 総合検査報告書
2. フリー報告書
3. ウイルス肝炎検査報告書
4. 糖負荷試験報告書
5. TUMOR MARKER検査報告書
6. アレルギー検査報告書
7. 甲状腺機能検査報告書
8. その他

至急報告をご希望される場合は、検査依頼時にあらかじめご指示ください。

検査結果が判明次第、FAX等でご連絡させていただきます。

緊急報告検査値範囲が設定してある項目については、特にご指示がない場合でもFAX等にてご連絡させていただきます。



## 特定感染症患者の検体受託について

当社の受託体制および感染症法(感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律)等により、下記に該当する感染症確定者、疑似症状者、無症状病原体保有者の検体については、受託することが出来ません。予めご了承ください。

### 【特定感染症】

- ・ 1 類感染症  
エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、南米出血熱およびラッサ熱のウイルス性出血熱、ペスト、マールブルグ病
- ・ 重症急性呼吸器症候群(SARS)

## 検査結果のお問い合わせ

検査内容等のお問い合わせ、ご意見、ご指摘等につきましては、最寄りの営業所・営業拠点またはデータインフォメーションへお問い合わせください。

データインフォメーション TEL.054(245)2933

問い合わせ対応時間：月～金(9:00～18:00)、土(9:00～17:00)

## 料金請求とお支払い方法

継続してお取り引きいただくお客様は、1ヵ月分をまとめてご請求申し上げます。お支払い方法は、ご契約に従ってお願いいたします。その他の場合は、原則としてご依頼時にお支払いください。なお、領収書につきましては、お振込みの際の振込金受領書をもちまして領収書に代えさせていただきます。領収書のご要望がございましたら、営業員にお申し付けください。

## 検体のご提出と搬送方法

検体は原則として院内検査室でまとめて当社担当者へご提出ください。なお、一部地域において提携先による集配を行っております。

検体受領場所[ ]  
 検体搬送時間[平均 時間] [最大 時間]

当社では、お預かりした検体の搬送精度向上のために、断熱材入りの専用検体搬送ボックスに専用の蓄冷剤と蓄温剤を用いて搬送しております。

備考欄に測定場所記号が無い項目については、当社静岡ラボラトリーにて測定実施しております。  
 エ、ヤ、ユ、ヨ、D、W、5、Lの項目については、当社下記ラボラトリーにて測定実施しております。  
 その他の記号については、当社より下記会社へ委託外注しております。

記号	測定委託先(エスアールエルグループ各ラボラトリー)	記号	測定委託先
I	エスアールエル八王子ラボラトリー	I	ファルコバイオシステムズ 東京研究所
Y	エスアールエル第3八王子ラボラトリー	K	Quest Diagnostics Incorporated(QD)
1	エスアールエル遺伝子・染色体解析センター	M	LSIメディエンス
3	エスアールエルMUQSラボラトリー	N	ビー・エム・エル
D	エスアールエル羽村ラボラトリー	Q	Athena Diagnostics
W	エスアールエル福岡ラボラトリー	ク	株式会社Oncomics
5	エスアールエル北海道ラボラトリー	ツ	ミルスインターナショナル
L	エスアールエル相模原ラボラトリー	ニ	長崎大学
記号	測定委託先	記号	測定委託先
C	あすか製薬メディカル	ハ	シノテスト サイエンス・ラボ
E	北里大塚バイオメディカルアッセイ研究所	ミ	江東微生物研究所
		モ	GENOMIC HEALTH, INC.
H	ピーシーエルジャパン	ロ	日本医学臨床検査研究所

## ご依頼検体の保管期間

お預かりした検体は、依頼日より3週間保管し、再検査や追加検査のご要望にお応えしております。但し、末梢血液検査など一部の検査につきましては1週間保管とさせていただきます。なお、保管期間を過ぎた検体につきましては、当社で処分させていただきます。また、当社から測定委託する項目につきましては、測定委託先の基準に基づいて保管させていただきます。

## 検査結果のご報告

原則的には当社の担当が直接お届けいたします。

至急報告を希望される場合は、検査依頼時に予め当日、翌朝報告等のご指示をください。

検査結果が判明次第、報告させていただきます。尚、至急報告可能な項目については、所要日数欄に至急対応可と記載しています。

緊急報告検査値範囲の設定してある項目については、特にご指示がない場合でも電話またはFAX連絡させていただきます。

但し、検体をお預かりした当日17:00以降に検査を実施した場合は翌日報告となります。

依頼書に性別のご記入がない場合、性差のある項目は基準値は印字しません。

## 免責について

ご依頼いただきました検査は当社検査実施基準に基づき行われますが、お預かりした検体の状態、または検査方法の技術的境界等により検査結果を臨床診断に資することが困難な場合があります。この場合当社はその検査結果に対し免責とさせていただきます。

## 再検査

当社再検査基準に基づき再検査をいたします。

検査必要量に満たない検体量でのご依頼の時には、再検査ができない場合があります。

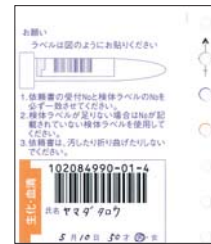
# ご利用の手引き

## 検体容器について

検体容器については、①～⑥ページの「容器の取り扱い方法」をご参照ください。

## 検体ラベルについて

検体ラベルには、氏名、性別、および年齢をご記入し、提出容器に貼ってください。  
 なお、同一名で複数の材料にてご依頼の場合は材料名もご記入ください。



## 総合検査案内掲載内容

- 検体量**：検体量は再検査分を考慮して設定しております。  
 血清または血漿の場合、必要量の約3倍量を目安に血液を採血してください。（検体採血方法は①ページをご参照ください）
- 保存**：指定の保存方法にてご提出ください。  
**凍結** 必ず凍結(-10℃以下)保存してご提出ください。 **冷蔵** 冷蔵(2℃～15℃)で保存してご提出ください。 **室温** 必ず室温(16℃～30℃)で保存してご提出ください。
- 基準値**：「正常参考値および判定基準」は当社では「基準値」で表示しております。
- 所要日数**：原則的には検体をお預かりした日を起算日とし、結果をお客様のお手元へお届けするまでの日数です。再検査の場合や祝祭日の前後は、さらに若干の日数を要することがあります。なお、記載されている材料以外のご依頼の場合や、凍結マークの項目との同時のご依頼の場合は、表示日数より遅れることがあります。
- 実施料・判断料**：検体検査料は検体検査実施料と、検体検査判断料に区分されています。

### 検体検査判断料

	判断料	判断料区分		判断料	判断料区分
1. 尿・糞便等検査判断料	34点	※1	4. 生化学的検査(Ⅱ)判断料	144点	※4
2. 血液学的検査判断料	125点	※2	5. 免疫学的検査判断料	144点	※5
3. 生化学的検査(Ⅰ)判断料	144点	※3			

- 採取条件**：検体を適正に採取するために、検体採取時に留意していただきたい事項です。（備考または容器の取り扱い方法をご参照ください。）
- 提出条件**：血清分離の要否など、適正な検査・測定を行うために必要な事項です。（備考または容器の取り扱い方法をご参照ください。）  
**速やかに遠心** 採血後、長時間の室温放置は避け、速やかに遠心分離してください。遠心分離までに時間指定のある項目や、前処理、遠心分離前に冷却を必要とする項目等もありますので、備考欄または容器の取り扱い方法も併せてご参照ください。  
**冷却遠心** 低温(4℃)にて遠心分離してください。
- 緊急報告検査値範囲** **緊急**：緊急報告検査値範囲(①ページ参照)が設定されておりますので、範囲を超えた場合には、当社より緊急連絡させていただきます。
- 参考文献**：検査方法についての基本的な参考文献です。（ア、イページ参照）

## 主な単位記号

L	liter	M	mol/L
dL	deciliter(=0.1L)	mmol	millimole(=0.001mol)
mL	milliliter(=0.001L)	μmol	micromole(=10 <sup>-6</sup> mol)
μL	microliter(=10 <sup>-6</sup> L)	nmol	nanomole(=10 <sup>-9</sup> mol)
fL	femtoliter(=10 <sup>-15</sup> L)	pmol	picomole(=10 <sup>-12</sup> mol)
kg	kirogram	fmol	femtomole(=10 <sup>-15</sup> mol)
g	gram	mm	millimeter
mg	milligram(=0.001g)	mm <sup>2</sup>	squaremillimeter(平方ミリメートル)
μg	microgram(=10 <sup>-6</sup> g)	mm <sup>3</sup>	cubicmillimeter(立方ミリメートル)
ng	nanogram(=10 <sup>-9</sup> g)	μ <sup>3</sup>	cubicmicron(立方マイクロ)
pg	picogram(=10 <sup>-12</sup> g)	Meq	megaequivalents
U	unit	mEq	milliequivalent
mU	milliunit(0.001U)	mOsm	milliosmole
μU	microunit(10 <sup>-6</sup> U)	%	percent
IU	international unit	‰	permill
mIU	milliinternational unit(=0.001 IU)	cpm	counts per minutes
AU	arbitrary unit	U <sub>A</sub>	unit allergen



## 検査項目欄の見かた

検体をお預かりした日を起算日とし、結果をお届けするまでの日数です。  
再検査の場合や祝祭日の前後はさらに日数を要することがあります。

検査ご依頼にあたっての注意事項です。

項目コード	OCRコード 項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備 考
蛋白・ 膠質反 応	000010102 000102	<b>緊急</b> 総蛋白(TP) 3A010-0000-023-271	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵 (1ヵ月)	1~2 (至急 対応可)	① 11 ※3	Biuret法	6.7~8.3 (g/dL)	(採取条件)安静空腹時、溶血しないよう採血してください。 (提出条件)全血にてご提出ください。血清でご提出の場合はポリスピッツに入れてください。
	000020102 000302	<b>緊急</b> アルブミン(Alb) 3A015-0000-023-271	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵 (1ヵ月)	1~2 (至急 対応可)	① 11 ※3	BCP改良法	3.8~5.2 (g/dL)	ヒトアルブミンと特異性の高いBCPと反応させる方法です。 (採取条件)安静空腹時、溶血しないよう採血してください。 (提出条件)全血にてご提出ください。血清でご提出の場合はポリスピッツに入れてください。
	000040102 000802	A/G比 3A016-0000-023-919	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵 (1ヵ月)	1~2 (至急 対応可)		BCP改良法 /Biuret法	1.1~2.1	(採取条件)安静空腹時、溶血しないよう採血してください。 (提出条件)全血にてご提出ください。血清でご提出の場合はポリスピッツに入れてください。
	000061102 001102	クンケル反応(ZTT) 3A030-0000-023-292	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵 (2日)	1~2 (至急 対応可)		日本消化器病学会 肝機能研究班 標準法変法	4.0~12.0 (U)	(採取条件)安静空腹時、溶血しないよう採血してください。 (提出条件)全血にてご提出ください。血清でご提出の場合はポリスピッツに入れてください。

①「蛋白分画」、「総蛋白」及び「アルブミン」を併せて測定した場合は、主たるもの2つの所定点数を算定する。

実施料、判断料区分です。※については④ページをご参照ください。

●については保険点数算定上の、同時算定不可、回数制限の算定条件を抜粋して欄外に掲載しています。

項目コード  
依頼書欄外項目  
ご依頼時はそれ  
ぞれ記載されて  
いる全ての英数  
字をご記入くだ  
さい。

JLAC10の結果  
識別コードを除  
いた15桁のコー  
ド(依頼項目)を  
記載しています。  
JLAC10コード  
は、日本臨床検  
査医学会が制定  
した臨床検査項  
目分類コードの  
ことで、JLAC10  
コードは17桁で、  
分析物5桁、識  
別4桁、材料3桁、  
測定法3桁、結  
果識別2桁から  
構成しています。

ご提出いただく検体の保存条件です。採血後の保存条件ではありませんのでご注意ください。( )内の安定性は当社検討データによる検体の保存可能時間の目安を記載しています。

## マーク一覧

受付・報告関連	緊急	<b>緊急</b>	緊急報告検査値範囲(①ページ参照)が設定されておりますので、範囲を超えた場合には、当社より緊急連絡させていただきます。
	重複不可	<b>重</b>	他項目との重複依頼は避けてください。
検体取り扱い	速やかに遠心	<b>速やかに遠心</b>	採血(採尿)後、長時間の室温放置は避け、速やかに遠心分離してください。遠心分離までに時間指定のある項目や、前処理、遠心分離前に冷却を必要とする項目等もありますので、備考欄または容器の取り扱い方法も併せてご参照ください。
	冷却遠心	<b>冷却遠心</b>	低温(4℃)にて遠心分離してください。
	凍結	<b>凍結</b>	必ず凍結(-10℃以下)保存してご提出ください。
	冷蔵	<b>冷蔵</b>	冷蔵(2℃~15℃)で保存してご提出ください。 なお、長期間にわたって保存される場合は、凍結して下さるようお願いいたします。ただし <b>凍</b> マークのついている項目は、長期間であっても凍結しないでください。
	室温	<b>室温</b>	必ず室温(16℃~30℃)で保存してご提出ください。
	遮光	<b>遮光</b>	直射日光または蛍光灯等を避け、遮光した容器にてご提出ください。
検査値への影響	溶血不可	<b>溶</b>	溶血検体は検査値に影響を及ぼす場合がありますので避けてください。
	不活化不可	<b>不</b>	不活化(非動化)検体は検査値に影響を及ぼす場合がありますので避けてください。
	酸性蓄尿不可	<b>酸</b>	酸性蓄尿は検査値に影響を及ぼす場合がありますので避けてください。
	凍結不可	<b>凍</b>	凍結(-10℃以下)保存は検査値に影響を及ぼす場合がありますので避けてください。